

開催に向けて

第34回経営研究フォーラム

実行委員長 **梶川 貴子** (株)フジタ 代表取締役

現在、世界はかつてないほどの混沌とした状況にあります。政治の不安定さや戦争、さらには人工知能の急速な進化など、私たちの生活やビジネスに直接的な影響を与える要素が増えています。このような時代において、私たち経営者には特に大きな試練が課されています。しかし、どんなに厳しい状況であっても、私たちは諦めることなく前進する必要があります。混沌とした世界だからこそ、私たちの行動一つ一つが大きな変革の一步となり得るのです。諦めないマインドセットを持ち続け、挑戦し続けることが、未来を切り開く鍵となります。

第34回経営研究フォーラムでは、決してあきらめない精神で革新を実践してこられた6名の報告者を招いています。私たち中小企業の経営者は、常に地域や社会に貢献することを目指して活動してきました。その中で得た経験や知識を共有し、互いに学び合うことで、さらなる成長を遂げることができると信じています。一人一人が今日のフォーラムを通じて、私たち一人一人の小さな一歩が、やがて大きな変革を生み出すと信じています。まずは一歩、半歩でもいいです。新たな気づきやインスピレーションを得て、明日からの行動に繋げていただけることを期待しております。想いを行動に移しましょう。

お勉強じゃないよ、実践だよ！



全国47都道府県47,000社のネットワーク

富山県中小企業家同友会

同友会は、異業種の中小企業経営者によって自主的につくられた任意の非営利団体です。3つの目的(①よい会社をつくろう②優れた経営者になろう③よい経営環境をつくろう)の総合実践、自主・自民・連帯の精神で、国民や地域と共に歩む中小企業を目指します。

※1957年、日本中小企業家同友会(現東京中小企業家同友会)の設立により、同友会の歴史がスタートしました。現在の会員数は、47都道府県47,000社を超えています。富山同友会は全国で22番目、1980年6月に41名で設立し、約500社の会員が学び続けています。

お申し込み方法

参加登録は下記のQRよりお申し込みをお願いします。WEBからの参加登録が難しい場合は、右記問い合わせ先まで、メールまたはお電話でお知らせ下さい。
※分科会は先着順です。
希望分科会を第2希望までご回答下さい。

締切

11月7日(木)

※11/8以降のキャンセルは全額ご負担いただきます



問い合わせ先

富山県中小企業家同友会 事務局
〒930-0827 富山市上飯野25

TEL 076-452-6006
FAX 076-452-6116

info@toyama.doyu.jp
https://www.toyama.doyu.jp



Web



facebook



Instagram

※ご提供頂く情報は行事運営のため、富山県中小企業家同友会の管理のもとに参加者名簿に活用し、それ以外に使用することはありません。
※本行事の内容を撮影・録音し、印刷物やインターネットで公開させて頂くことがあります。不都合がございましたら事務局までご連絡下さい。

富山県中小企業家同友会

第34回 経営研究フォーラム

行動こそ変革の第一歩!!
自ら未来を創る!

基調講演

崖っぷちから奇跡の復活!

預金残高50万円・負債2億円、破産寸前でも

社員と共にひたすら行動し再生!

銚子電鉄が教えてくれる、中小企業の生き残り戦略



銚子電気鉄道(株) 代表取締役
/(一社)千葉県中小企業家同友会

竹本 勝紀 氏

税理士として数多くの企業を支援した後、銚子電気鉄道の顧問税理士に就任。その後、代表取締役に就任し、経営危機にあった同社を立て直す。電車の運転免許を取得し、自らハンドルを握るなど、ユニークな経営スタイルで知られる。



【銚子電鉄】激つらチャンネル

YouTube

https://www.youtube.com/@user-hl2bg4ot3s



「カンブリア宮殿」
出演!!(No.687)

日時

2024年11月18日(月)13:00~18:50 (全県交流会 19:05~20:30)

会場

ホテルニューオータニ高岡 定員 250名(先着順)

参加費

5,000円 全県交流会 10,000円

※会員企業の社員1名に限り無料(先着順)、2人目以降有料となります。
※会場定員の都合上、社員の参加は1企業3名までとさせていただきます。
※全県交流会に参加の方は、会費別途10,000円を徴収させていただきます。
※消費税法基本通達5-5-7に該当する共同行事のため、課税仕入れにはしないようにお願いします。

スケジュール

12:30~ 受付開始
13:00~16:15 分科会
16:15~16:30 会場移動
16:30~18:50 全体会・基調講演
18:50~19:05 会場移動
19:05~20:30 全県交流会

主催/富山県中小企業家同友会 後援/富山県、高岡市、日本政策金融公庫富山支店、北陸銀行、富山県信用組合、公益財団法人富山県新世紀産業機構、富山県商工会議所連合会、富山県商工会連合会

不屈の精神で革新を実践してきた6名の報告者に、心して刮目せよ!

同友会型企业づくりが採用と人が育つ風土をつくる ~人とまち未来にHAPPY SMILE~

同友会型企业づくりを目指して取り組んできた絹川会員。同友会入会時に社員教育委員会での学びの中から対話を重視した共に育つ企業づくりを行っています。絹川商事では不動産・建設・コンサルタント・まちづくりを通して、会社の理念でもある『人とまち未来にHAPPY SMILE』をコンセプトに、社員と共に創る企業づくりや、社員と行政・学生・お客様・マスコミ・農業・プロスポーツ等と連携し地域の課題解決に取り組んでいます。絹川会員は「社会貢献こそが地域との信頼に繋がり、企業の魅力を高め採用にもつながっている」「企業も地域の市民である以上、地域の課題解決に向けて更に社員と共に、社業を通して地域貢献を通じたブランディング活動をすすめていきたい」と語ります。本分科会では、絹川会員の経営体験報告から、社員と共に同友会型企业づくりをすすめることが自社の変革の一步となり、継続していくことで自社の未来づくりと地域への貢献が新たな共感者の輪を広げていくことを学びます。

※21世紀型中小企業 同友会型企业とは…自社の存在意義を改めて問い直し、社会的使命に燃えて事業活動を行い、国民と地域社会からの信頼や期待に高い水準で応えらるる企業。社員の創意や社員の自主性が十分に発揮できる社風と理念が確立され、労使が共に育ちあひ高まりあひの意欲に燃え活力に満ちた豊かな人間集団としての企業。

会社概要	設立年	1971年
	資本金	4,000万円
	社員数	43名(役員・パート・嘱託含む)
	事業内容	不動産売買・賃貸・仲介・管理、不動産コンサルティング、損害保険代理店、建築・土木工事の設計、施工、管理
		https://www.kinukawashoji.com/



第1分科会

絹川商事(株) 代表取締役社長
石川県中小企業家同友会 代表理事
絹川 善隆氏



基調講演

銚子電気鉄道(株) 代表取締役
(一社) 千葉県中小企業家同友会
竹本 勝紀氏



第2分科会

(株)モリタ 代表取締役社長
富山県中小企業家同友会
角崎 誉栄氏



(株)モリタ 代表取締役会長
富山県中小企業家同友会
森田 昌孝氏

創業1935年、富山県射水市に本社を構える株式会社モリタ。理容の道具屋から始まり、美容材料や器具の販売、貸衣装、経営コンサルティングなど時代に合わせた“美”に関するビジネスを変革させ、来年には90周年を迎えようとしている。1998年に三代目社長に就任した森田昌孝氏は、2001年に経営指針を創る会を受講し、富山同友会代表理事を経て、2020年に四代目へバトンを渡した。受け取ったのは、創業家以外では初めてとなる角崎誉栄氏。2019年

に経営指針を創る会を受講した翌年、名実ともに事業承継がなされた。果たして森田氏はあの時何を考え、どう決断し、今何を思っているのか。そして角崎氏は、それまで何を抱き、どう覚悟を決め、これから何を描くのか。100周年を視野に入れる地元企業の、リアルで現在進行形の事業承継。そこに行きかう相思相愛の思いやすれ違いの考え、互いへの気持ち、意識の変化などを、実際のエピソードを交えて、赤裸々に語って頂きます。

会社概要	設立年	1977年
	資本金	1,000万円
	社員数	42名
	事業内容	理美容室経営に必要な商材、機材の販売及び、技術の支援、経営のアドバイス等、貸衣装事業
		https://b-morita.com/



理念とのギャップを埋めてくれたのは自然体の共育だった

第3分科会

(株)文化社 代表取締役社長
岐阜県中小企業家同友会 共育委員長
所 貴佳氏



VUCA社会の到来により社会は大きく変容しています。私たちは、止まらない人口減少と人々の意識の変化に対応すべく、日々、経営に四苦八苦していますが、それでも、様々な理由で後継者が見つからないまま経営者が高齢化し、休廃業・解散を余儀なくされる企業が増えています。運良く事業承継できたとしても、社員とともに社風を創ることは容易なことではなく、事業の継続と社員教育は、どちらも経営者にとって頭の痛い問題です。岐阜市で看板広告などを展開する(株)文化社の所社長は48歳。元は社員でしたが、コミュニケーション能力を買われて後継指名され、現在6年目。順風満帆な事業承継に見えますが、先日まで同僚だった社員たちとの距離感など、悩みも多い日々だったといえます。それでも、地道に粘り強く継続して社内の一体感を高めることに取り組んできた所社長、気づけば社長自身が変容し、いつのまにか社内と社員も変化していました。各種アンケートにおいて「人材育成、社員教育」は必ず経営課題の上位に挙げられますが、マンパワーの不足もあって優先順位を下げてしまいがちです。本分科会では、長く自身と社員の「共育」に取り組んでこられた所社長から、現在に至るまでの失敗、試行錯誤から、結果として社風の醸成につながっている事例を伺うことで、私たちが自身の経営のあり方を見つめる機縁としていただけたらと思います。

会社概要	設立年	1988年
	資本金	1,000万円
	社員数	24名(役員除く)
	事業内容	看板事業(屋外広告物の製作施工)、オリジナル販促物の製作、ネットビジネス事業、素材ラボ事業、WEBサイトM&A事業、通信販売事業
		https://bunka-sha.jp/



銚子電鉄が教えてくれる、中小企業の生き残り戦略

「もうダメだ」そんな言葉が何度も頭をよぎった…。

竹本氏が顧問税理士に就任した当初、銚子電鉄は前経営陣による横領事件により約1億円の借金を背負い、破産寸前の状態でした。自治体からの補助金や新規融資も受けられず、破産手続きに必要な費用すら捻出できない状況。それでも竹本氏は諦めず、地域の人々と共に、銚子電鉄の再生を目指しました。

なぜ、銚子電鉄は生き残ることができたのか？

地方の小さなローカル鉄道、銚子電鉄。経営危機を何度も乗り越え、今や地域に愛されるユニークな鉄道会社として生まれ変わりました。奇跡の復活劇を率いたのは、税理士から鉄道会社社長に転身した竹本氏。「ぬれ煎餅」や「まぜい棒」といったヒット商品を生み出し、お化け屋敷電車やイルミネーション電車など、常に新しいアイデアで地域を盛り上げています。

その奇跡の復活劇には、こんなドラマが…。

- 逆境をチャンスに変える**：数々の危機を乗り越えてきた銚子電鉄が、どのように困難を乗り越え、新たなビジネスチャンスを生み出したのか。
- 地域との共創**：地域の人々と共に作り上げる、持続可能なビジネスモデルとは？
- 変化を恐れず、新しいことに挑戦する**：常に新しいアイデアを生み出し、地域を活性化させるための秘訣とは？

会社概要	設立年	1922年
	資本金	6,910万円
	社員数	24名
	事業内容	鉄道事業及びぬれ煎餅を始めとする食品製造販売業
		https://www.choshi-dentetsu.jp/

子供の未来は社会の未来 ~出会いで未来が変わる・変えられる~

第4分科会

スクールカウンセラー・公認心理師・保護司、元福岡県警察少年サポートセンター新・レッド隊長
安永 智美氏



私たちに見えていない地域の問題を知ることは、自社事業と経営者としての責任を考える上で大きな機会に繋がります。これらの本質が同友会で言う入り口としての「労使見解」であり、出口である「国民や地域と共に歩む中小企業」を目指すことに深く関わっていると気づくはず。中小企業にできることはまず「雇用」です(暮らしを守る、支える)。時代と社会が変化し、新しい価値観が必要となる現代では、ダイバーシティを前提とした誰もが人間らしく生き、自分らしく暮らすことができる地域社会を目指していかねばなりません。本分科会では、経営者が社会問題や地域課題に対し、自社事業を通じてどのように向き合い、何ができるかを考えます。城南支部地域づくりチーム&ダイバーシティ委員会では、これまで児童養護施設出身者、シングルマザー、LGBTQ、貧困家庭の子ども・若者など個人の力でどうすることもできない社会の実情と課題を学んできました。2022年より、ダイバーシティ市民大学として、中小企業経営者や関係者が持続可能な地域づくりのため、社会的弱者や生きづらいつい人々の雇用や就労継続推進を目指して学ぶ研修会シリーズを展開しています。今回は、28年間にわたり少年育成指導官として尽力されてきた安永氏に、子どもを犯罪被害者にも加害者にもしないための支援活動を中心に報告していただきます。皆さんに伺います。子どもの幸せは誰の責任ですか?親だけの責任でしょうか?あなたの会社は大人たち(親たち)を幸せにしていますか?

活動概要	1984年から12年間福岡県警察官として勤務。1996年に少年非行やいじめ、家庭内暴力など様々な少年問題に対応する少年育成指導官に転身し、少年サポートセンターにおいて、「子どもを守るサポートセンター・レッド隊長」としての勤務を経て、2024年4月からスクールカウンセラー、保護司、講演や研修会の講師として活動。
------	---